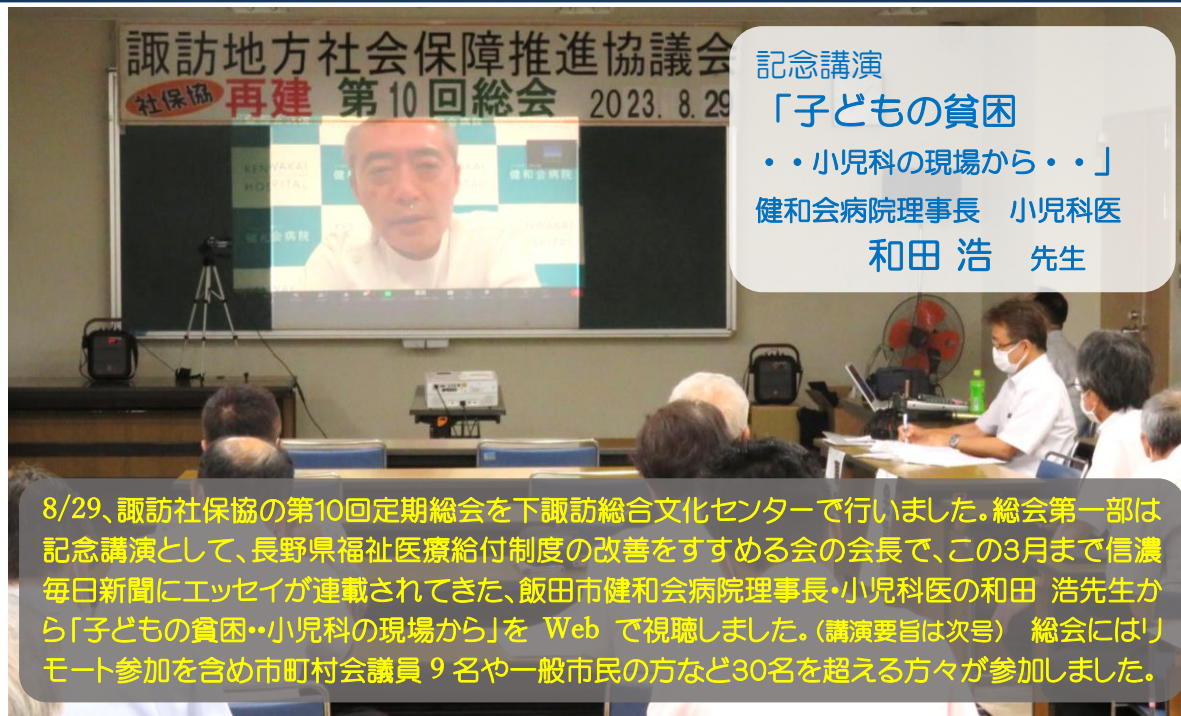


# 諏訪地方社保協 ニュース

諏訪地方社会保障推進協議会  
2023年9月6日発行  
10 - No.1  
下諏訪町矢木町 214 南信勤医協内  
TEL : 0266-28-3071(代)  
メール: suwasyahokyo2021@skhp.or.jp  
ホームページ: “諏訪社保協”で検索



8/29  
第10回総会開催

8/29、諏訪社保協の第10回定期総会を下諏訪総合文化センターで行いました。総会第一部は記念講演として、長野県福祉医療給付制度の改善をすすめる会の会長で、この3月まで信濃毎日新聞にエッセイが連載されてきた、飯田市健和会病院理事長・小児科医の和田 浩先生から「子どもの貧困・小児科の現場から」を Web で視聴しました。(講演要旨は次号) 総会にはリモート参加を含め市町村議員 9 名や一般市民の方など30名を超える方々が参加しました。

記念講演

「子どもの貧困

・ ・ 小児科の現場から ・ ・ 」

健和会病院理事長 小児科医

和田 浩 先生

## 毛利会長の開会あいさつ

再建 10 回、節目の総会だが、今、社保協活動が面白い。国は 5 年間で 4 3 兆円を軍事費に使おうとしている。これ自体はとんでもない事ですが、そのう

ち 3 兆円は社会保障費の削減によるといいます。日々社会保障の充実を願って活動する皆さんのたたかいが、戦争を止めることにつながっていくことを確信としたい。

社保協が面白いもう一つは、社保協は諏訪の 6 市町村議会に請願や陳情を色々と提出してきていますが、議会での説明を通じ、今回は介護保険制度の改善を求める陳情も 4 議会で採択され、国への意見書提出となった。これは全県を牽引しました。それだけではなく、首長にも補聴器購入費の助成を求めて要請を行い、下諏訪町では早速実施され、既に予算を超過して補正予算が組まれるまでになっているといいます。私も難聴ですが、人間としての尊厳を認められたという実感があります。今後もネットを活用しての勉強会も考えていきます。皆さんも社保協と一緒に勉強や活動をして、面白いと思える運動をやっていきましょう。

## 議案はすべて可決

総会議事は議長に西村共立病院事務長を選出し進め

ました。備前事務局長が 2022 年度活動の総括・決算案、(監査報告は平林愛子さん)、23 年度方針・予算案を説明しました。

方針案説明では来年が医療・介護・福祉のトリプル改定の年で、今年度の



議長 西村高志さん

活動が大きなカギとなる。そのため ①岸田政権が進める大軍拡と社会保障削減を許さず、憲法 9・2 5 条を一体にした平和と社会保障拡充をめざすたたかい ②「社会保障は国の責任で」を掲げ、国庫負担増を推進する ③秋のキャラバンはトリプル改定に向けて、すべての自治体を訪問し、社会保障拡充要求の実現に向けて活動する を重点ポイントとして進めるとしました。これからの活動では、①「保険証をのこせ」の受療権を守り抜くたたかい ②国保の県単位化にともなう国保税(料)引上げに対するたたかい ③地域で安心できる介護保険の改善をめざす取り組み ④75 歳医療費窓口負担 2 倍化法実施中止させる取り組み ⑤子ども・障がい者等の医療費窓口完全無料化をめざした活動の強化 ⑥補聴器購入に公的助成を求める運動の強化 などを中心に掲げ運動する方針を説明しました。議案は満場一致で議決されました。

## もうり栄子県議からの連帯メッセージ

諏訪地方社保協の第10回総会おめでとうございます。4月の統一地方選挙では大変お世話になりました。5期目の県議として送っていただき、6人になった県議団の力を最大限生かして皆さんの期待に応えるために毎日がんばらせていただいています。軍拡・大增税の岸田政権の暴走のもとで流れにあらがって住民の平和と暮らし・福祉を守る戦いはますます重要になっています。草の根から政治を変えるために国保税の引き下げ、学校給食費の無料化、子ども医療費の18歳までの完全無料化、障がい者医療費の窓口での無料化など公約実現目指し、皆さんと力を合わせ一日も早く実らせるために力を尽くします。ともに頑張る決意を述べお祝いとさせていただきます。

2023年8月29日 県議会議員 もうり栄子

### 活動報告から

諏訪市議会副議長・諏訪民商会長 井上 登さん  
諏訪市の国保税引き下げ



前回（2017）改定で18%引上げされる等、この間の基金のため込みが4.4億円となった。資産割解消と基金2.5億円の取崩しで、今回は平均2.1万円の引き下げを実現した。今後応益割の引上げをさせない取り組みを強める。

共立病院ソーシャルワーカー 太田 みちよさん  
無料低額診療事業と障がい者の福祉医療助成制度



無低診事業は中々周知されていない。昨年7、今年2件の申請があった。茅野や岡谷からも相談がくる。コロナ禍や物価高騰に宗教や借金問題等で精神的・専門的なアプローチ必要。子ども同様に障がい者の福祉医療の充実も求めている。

泉の会事務局長・下諏訪町議 花岡 進さん  
介護保険制度と後期高齢者医療での高齢者負担増の問題を上げて



6月議会で初質問した。75歳高齢者医療費の値上げで8割の方が生活が苦しいことから元に戻す事、介護保険料の引下げ等を求めた。町長は持続可能な制度維持と国の様子を注視するという。町民に寄り添うべきだ。9月議会でマイナ保険証問題等とりあげたい。

共立福祉会理事長 岩間 ひとみさん  
共立福祉会の経営状況のその後と介護保険制度の改善を求めて



昨年は法人存続が問われる経営危機に際し、大きなご支援を受け感謝します。今年、水光熱費の高騰でケアの質を落とさないよう頑張ってきたが、利用者に冷房の負担をお願いした。しかし、これ以上の負担は生活できないと言われる。来年の改定で利用者負担ではなく全額公費による介護職員の処遇改善を求め、介護署名に取り組む。

下諏訪町議 金井 敬子さん  
下諏訪町で始まった補聴器助成制度の実施とその後



19年より補聴器購入助成を議会で取り上げてきた。町は高齢者実態調査を行うと回答したが、社保協の署名が提出され3月に実現。助成額は上限1/2、3万円以内という内容。対象を加齢性に限定せず18歳以上難聴者とし特筆される。申請者は全て認定され現在16件。今議会に出された60万円の補正予算案を可決させたい。地域の声を集め、議会でも頑張りたい。

### 伊藤和久 新副会長の閉会あいさつ



会長より社保協が楽しいというお話があったが、私も組合の次期役員の声かけをしているがなかなか体制が組めないでいる。社保協活動も組合活動も頑張らなければと思っている。労組活動も必要だが苦しい。何故苦しいのか・・・、社会保障が削られていく中、なかなか改善されていない。だが出来ることは沢山ある。今期から社保協にお世話になります。よろしくお願いします。

### 第10期役員のみなさん（○は新任）

会 長	毛利 正道	法律事務所こんには
副 会 長	○山崎 真佐男	高教組諏訪支部
同 上	濱 恒弘	諏訪地区労連
同 上	今井 進	年金者組合諏訪支部
同 上	○伊藤 和久	諏訪地域民医連労組
事務局 長	備前 光正	南信勤医協
事務局 次長	花岡 進	健康クラブ泉の会
会 計 監 査	平林 愛子	新婦人下諏訪支部
同 上	○山本 しのぶ	諏訪地域民医連労組

よろしくお祈いします。

### 今後の活動の主なもの 詳細は社保協事務局まで

- 9/11・12・20 健康保険証存続陳情の意見陳述（下諏訪町・諏訪市・原村議会）
- 9/16・17 中央社保学校 In 岡山（web）
- 9/23 子どもの貧困問題 長野県小児保健協会：松本歯科大
- 9/30 介護改善運動交流集会（県社保協：松本勤福、web）
- 10/7・8 第68回働く婦人の中央集会（長野市）
- 10/19 医療・介護・福祉に国の予算を増やせ！
- 10.19 いのちまもる総行動 日比谷野音（現地、Web）
- 10/28 国保運動交流集会（県社保協：松本勤福、web）
- 11/11 介護・認知症なんでも電話相談（県社保協）